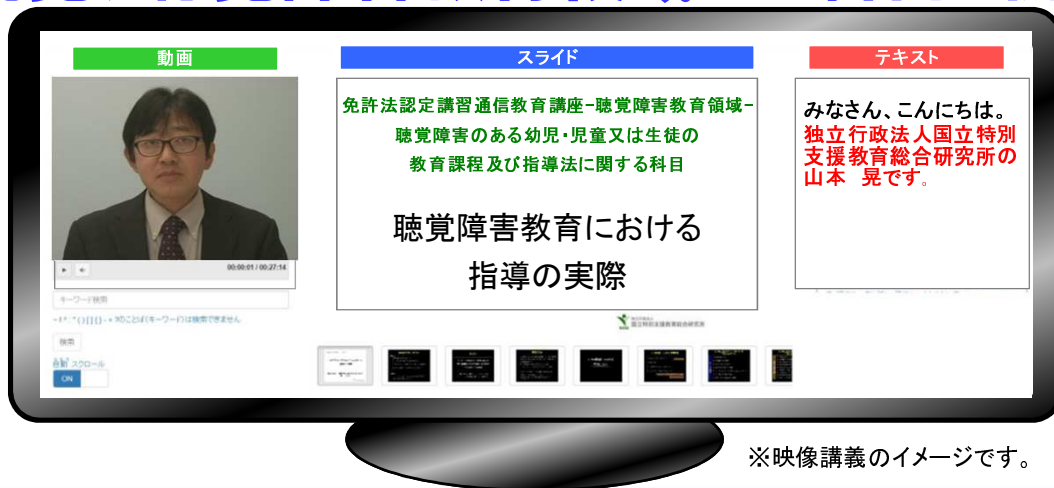


# 特別支援学校教諭免許状取得のための 免許法認定通信教育

## 令和2年度後期開設科目のご案内

### ～ 視覚、聴覚障害教育領域の2科目を開講～



### 受講対象者

視覚障害教育領域・聴覚障害教育領域の免許状を所持していない教員。特別支援学校(視覚障害・聴覚障害)や、特別支援学級(弱視・難聴)等に勤務する方は是非ご検討ください。

### 受講申込方法

下記ウェブサイトより受講募集要項をご覧ください。

免許法認定通信教育総合情報サイト

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>  
申込受付期間はHPで周知します。

### 受講方法

パソコン・タブレット端末等で約15時間の映像講義を視聴し、学習を重ねてください。  
スクーリング形式の授業は行いません。

### 講習期間・開設科目名

令和2年9月1日(火)～令和2年12月11日(金)

- ①視覚障害児の教育課程及び指導法(1単位)
- ②聴覚障害児の教育課程及び指導法(1単位)

### 受講料

無料です。

### 単位認定試験

令和2年12月26日(土)

全国に複数の会場を設けて実施します。

インターネットによる免許法認定通信教育です。  
特別支援学校教諭一種、二種免許状の取得や新教育領域の追加等に必要な単位を最大4単位まで修得できます。詳細については、本研究所のサイトをご覧ください。



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 免許法認定通信教育オフィス

E-mail : v-tsushin@nise.go.jp

# NISE 免許法認定通信教育を利用した 特別支援学校教諭免許状取得の流れ（イメージ）



視覚障害教育領域・又は聴覚障害教育領域の免許状を  
保有していない特別支援学校等の教員

視覚障害教育領域・聴覚障害教育領域の第2欄に掲げる科目  
「教育課程及び指導法」、「心理、生理及び病理」(各1単位)

その他修得すべき科目

### NISE 免許法認定通信教育

インターネットを利用して  
受講申込み

パソコン・タブレット端末等で  
15時間の映像講義を視聴

単位認定試験(マークシート)  
に合格

大学、教育委員会等が実施する  
免許法認定講習を受講

必要な単位を全て修得

免許状取得に必要な基礎資格  
及び最低修得単位数については各都道府県・指定都市教育  
委員会の教員免許担当課にご  
確認ください。

視覚障害教育領域・聴覚障害教育領域の  
免許状を取得



平成27年12月、中央教育審議会「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について(答申)」  
において、「平成32年度までの間に、おおむね全ての特別支援学校の教員が免許状を所持することを目指  
し、国が必要な支援を行うことが適当である。小・中学校の特別支援学級担任の所持率も、現状の2倍程度  
を目標として、特別支援学校教諭免許状の取得を進めることが期待される」ことが示されました。

このことを受けて、国立特別支援教育総合研究所(NISE)では、免許状取得率が低い視覚障害教育領域  
及び聴覚障害教育領域について、教育職員免許法施行規則において第2欄に掲げる科目(各1単位)のイ  
ンターネットによる免許法認定通信教育を開講し、特別支援教育に携わる教員の免許状取得率向上を支援  
しています。



NISE 講義配信は...

インターネットによる講義配信



# NISE 学びラボ

～ 特別支援教育eラーニング ～

2020年4月1日 リニューアルしました！



いつでもどこでも  
特別支援教育に  
ついて無料で学  
ぶことができます

スマートフォンやタブ  
レット端末にも対応



## Check1



●多様な利用環境で、より視聴しやすくなりました！

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から、ほとんどの利用環境で無料で視聴できます。より操作しやすく、視聴しやすい画面設定になりました。

## Check2



●教職員等の主体的な学びを支援します！

120以上の講義コンテンツや、複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムから、ご自身のニーズに応じた学習ができます。また、受講状況や視聴履歴が確認できます。

## Check3



●団体登録により研修プログラムが設定できます！

教育委員会等の機関が主催する研修等で、受講者のニーズに合わせて複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムが設定できます。修了者には視聴証明書を発行します。

URL : [http://www.nise.go.jp/nc/training\\_seminar/online](http://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online)



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

NISE 学びラボ



# 新システム NISE 学びラボ の視聴方法

## 1. ログイン画面

付与されているIDとパスワードでログインします。  
初めての方は、画面右「利用申請」から利用申請を行ってください。



団体申込みも可能になりました！  
詳細は [a-manabilabo@nise.go.jp](mailto:a-manabilabo@nise.go.jp) まで

## 2. コンテンツの選択

コンテンツ一覧から視聴したい講義のコンテンツを選択します。



ログイン後のホーム画面です。  
「コンテンツ一覧」のボタンを押します。

120以上の講義コンテンツが、「分類」→「コース」→「コンテンツ」という階層で整理されています。それぞれの階層リストから興味のある内容を選び、視聴したいコンテンツを選択します。



分類



コース



コンテンツ

他にもこんな機能が・・・

- ☑ 「研修プログラム」では、受講者のニーズに応じて系統的に学べるコンテンツを提案しています。
- ☑ 「受講状況」では、受講者自身がこれまでに視聴したコンテンツを確認することができます。

リニューアルした



NISE 学びラボ

を、是非ご利用ください！

お問い合わせ先: NISE学びラボ担当 [a-manabilabo@nise.go.jp](mailto:a-manabilabo@nise.go.jp)



インターネットによる講義配信  
**NISE 学びラボ**  
 ～ 特別支援教育eラーニング ～

(独)国立特別支援教育総合研究所

## ○分類、コース別コンテンツ一覧

分類	コース	コンテンツ名
特別支援教育全般	インクルーシブ教育システム関連	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
		インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(1) 障害児教育の歴史
		インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(2) 特別支援教育の理念と基本的な考え方
		インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(3) 学習指導要領と教育課程
		特別支援教育におけるICFの活用
		特別支援教育における教材・教具の活用
		特別支援教育におけるICTの活用
		特別支援教育におけるカウンセリング技法
		インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習
		「個別の指導計画」の作成と活用
		インクルーシブ教育システムの構築
		インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修
		特別支援学校の地域におけるセンター的機能
		障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援
		合理的配慮と基礎的環境整備
		特別支援教育の視点を生かした学校経営
		各学びの場における教育
	多様な学びの場(2)小学校・中学校等	
	「通級による指導」の成立とその意義	
	幼児期における特別支援教育	幼児期における特別支援教育の考え方
		幼児期の具体的な関わり方の実際
		幼児期の関係機関との連携
	高等学校段階における特別支援教育	幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり
		高等学校に求められる合理的配慮と基礎的環境整備
		高等学校における校内支援体制づくり(1)
		高等学校における校内支援体制づくり(2)
		高等学校における特別な配慮を要する生徒への進路指導
		高等学校における特別支援教育に関する研修及び授業研究の進め方
	役割と連携	高等学校段階(思春期)における障害のある生徒の心理と自己理解
		小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成
		特別支援教育コーディネーター役割と活動を中心にー教育と福祉・医療等との連携
	発達、生理・病理、諸検査等	医学的理解ー行動上の問題・てんかんー
		小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童生徒の理解
		発生期、胎生期及び周産期における障害
		中枢神経系における障害
		主な検査の種類と方法及び留意事項ー発達検査法と知能検査法ー
		検査の意義とアセスメントーアセスメントの目的と意義ー
		視覚検査法
	聴覚検査法	

分類	コース	コンテンツ名
障害種別の専門性	視覚障害	視覚障害の特性と教育課程
		視覚障害教育における教科等の指導とキャリア教育・職業教育
		視覚障害教育における情報機器等の活用
		視覚障害教育における自立活動
		視覚に障害のある子どもにおける触覚活用
		視覚障害教育における教科指導法－国語の指導－
		視覚障害児の認知と指導
		弱視学級における指導と学習支援
		弱視用視覚補助具概論－弱視レンズの選定と指導－
		聴覚障害
	聴覚障害児のコミュニケーション	
	聴覚障害児への教育的支援	
	聴覚障害教育概論	
	聴覚障害乳幼児の療育と指導	
	手話の活用	
	聴覚機能の理解と指導	
	特別支援学校(聴覚障害)における進路指導・職業教育	
	聴覚障害児の自己理解と教育	
	知的障害	知的障害の理解と教育的対応の基本
	知的障害教育における教育課程の編成	
	各教科等における指導の工夫	
	障害のある児童生徒のキャリア教育	
	知的障害教育における自立活動の指導	
	知的障害教育における領域・教科を合わせた指導	
	知的障害教育の教育課程の歴史	
	肢体不自由	肢体不自由の定義と障害特性
	肢体不自由教育における教育課程	
	肢体不自由教育の実際その1	
	肢体不自由教育の実際その2	
	肢体不自由のある子どもへのAAC	
	自立活動の指導－指導計画の作成－	
	肢体不自由教育におけるICFの活用	
	肢体不自由教育の歴史	
	小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する実態	
	病弱・身体虚弱	病弱・身体虚弱教育の特性と教育課程
	病弱・身体虚弱教育における指導の実際その1	
	病弱・身体虚弱教育における情報機器活用の実際	
	子どもの身体発育と運動発達	
	関係性の障害とその対応	
	病弱教育の歴史	
	慢性疾患の理解	
	言語障害	言語障害とその教育－言語障害の定義・特性・分類－
言語障害のある児童生徒の理解と指導1－構音障害・吃音障害－		
言語障害のある児童生徒の理解と指導2－言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害－		
構音障害の理解と指導		
吃音の理解と対応		
口唇口蓋裂の医療		
言語障害教育の現状と課題		
ことばの遅れをめぐって		
情緒障害	情緒障害教育概論	
自閉症教育概論		
選択性かん黙等の心理的要因が関与する児童生徒の理解と指導		

分類	コース	コンテンツ名	
	発達障害	情緒障害のある児童生徒の指導と対応	
		定義と判断	
		学校における気づきと実態把握	
		特性の理解	
		特性に応じた指導	
		個別の指導計画の作成と活用	
		校内支援体制の構築	
		自閉症のある児童生徒の自立活動の指導	
		自閉症のある児童生徒の家族支援	
		自閉症のある子どもの教育課程	
		自閉症のある子どもの実態把握	
		通常の学級における自閉症スペクトラム障害(ASD)のある児童生徒の指導の対応	
		自閉症のある子どものためのソーシャルスキル指導	
		ADHDのある子どもの理解と対応	
		発達障害のある子どもの思春期(前半)	
		発達障害のある子どもの思春期(後半)	
		幼児期の発達障害	
		LDのある子どもの理解と対応	
		アセスメントの目的と活用	
		発達障害のある子どもの通常の学級における支援	
		発達障害のある子どもの通級による指導	
		重複障害	重複障害の概念と教育課程
			医療的ケアを必要とする子どもへの対応
			訪問教育における指導
			重複障害のある児童生徒の実態把握と指導の基本的観点
			重複障害のある子どものコミュニケーション
			盲ろうの子どもたちの理解と指導
	重複障害のある子どもとのコミュニケーションを支える環境づくり		
	特別支援教育における重複障害教育の現状と課題		
	重度・重複障害者の卒後の支援		
	盲ろうの子どもたちの指導の実際		
	手厚い支援を必要としている子どもが主体となる教育計画と実践		
	通常の学級における学びの困難さに応じた指導	概論	学習指導要領にみる特別支援教育 教育課程の連続性と個に応じた指導の充実
小学校段階		小学校国語 小学校理科 小学校家庭 小学校体育 小学校総合的な学習の時間	